



# 農業技術センターニュース

目		次	
	マデイラコナカイガラムシに対する微生物農薬の効果 ...1		基肥施用量と‘カサブランカ’の「青地」(仮称)発生との関係 ...4
	オクラ果実黒斑病を軽減するための収穫後の管理 ...2		軟X線照射花粉受粉による「日向夏」の種なし果実着果安定技術 ...5
	とげなし高知ナス「試交SL12号」の特性 ...3		ヒートポンプと重油暖房機を併用した場合のコスト ...6

## マデイラコナカイガラムシに対する微生物農薬の効果



写真1 雌成虫



写真2 卵のう



写真3 孵化幼虫

表1 若齢幼虫に対する殺虫効果(室内試験)

薬剤名	希釈倍数	補正死虫率(%)
ボタニガード ES	500倍	98.1
	1,000倍	98.4
	2,000倍	82.9
ゴッツ A	1,000倍	95.4
	2,000倍	58.5
マイコタール	1,000倍	11.3

注) 主に1、2齢幼虫が寄生した葉ジソ葉をイオン交換水で希釈した薬液に10秒間浸漬し、5日後に生死を調査。

表2 雌成虫に対する殺虫効果(室内試験)

薬剤名	希釈倍数	補正死虫率(%)
ボタニガード ES	1,000倍	100
	2,000倍	88.0
ゴッツ A	1,000倍	76.0

注) 雌成虫をイオン交換水で希釈した薬液に10秒間浸漬し、5日後に生死を調査。

本県の特産野菜の一つである葉ジソ(オオバ)の栽培では、近年マデイラコナカイガラムシ(写真1~3)が多発し問題となっています。しかし、マイナー作物である葉ジソに適用登録されている薬剤はわずかしかなりません。そこで、野菜類に適用登録されている微生物農薬の効果を調べました。

若齢幼虫に対してはボタニガード ES 500倍、1,000倍、ゴッツ A 1,000倍の効果が高

く、補正死虫率で95%以上を示しました(表1)。また、ボタニガード ESは雌成虫に対する効果も高く、1,000倍での補正死虫率は100%に達しました(表2)。室内試験の結果ですが、ボタニガード ESは実際の防除に利用できる可能性が高いと考えられますので、現在、本剤を組み込んだ防除実証試験に取り組んでいます。

(昆虫担当 広瀬拓也 088-863-4915)